

IV期非小細胞肺癌患者における予後予測因子としての血小板指数に関する後方視的・単施設研究

研究の背景・目的

近年、非小細胞肺癌の診療に際して、あらかじめ治療開始前に行う血液検査結果等により、以降の化学療法の治療効果を予測できる可能性を示唆する研究が増えてきています。そこで、本研究は、病理学的に診断されたIV期非小細胞肺癌で、当院にて化学療法を受けた方（試験群）において、化学療法開始直前の採血で得られた、各種の血小板指数を指標に用いて更にいくつかの群に分け、生存期間等を比較・解析するとともに、検診受診者や、年齢・性別に近い気管支喘息または慢性閉塞性肺疾患の患者さん（コントロール群）の血小板指数と比較し、IV期非小細胞肺癌の患者さんにおける、血小板の病理的状态について検討し理解を深めることを目的としました。左記で得られた知見を用いて、将来的により質の高い病状説明、インフォームドコンセントを行うことができるとともに、医学界において、悪性腫瘍治療薬としての血小板製剤の可能性について新たな道が開かれることを期待しております。

詳細

対象

試験群）病理学的に診断されたIV期の非小細胞肺癌を患い、2013年5月1日から2018年4月30日までに一度でも抗がん剤治療を受けられた患者さん

対照群）2013年5月1日から2019年3月31日までに、当院にて職員検診を受け、血算を採取された当院職員のうち、参加条件に見合った方と、2013年5月1日から2018年4月30日までに当院で血液検査を受けた、気管支喘息または慢性閉塞性肺疾患の患者さんの一部

方法

試験群については、初診時、化学療法開始時、化学療法変更時の採血結果を解析、対照群については、検診時、または受診時の採血結果を解析します。

解析資料

本研究では、通常診療で得られた臨床情報・診療情報を診療録より入手・収集し、各項目の関連性を統計学的手法により解析します。本研究で利用する情報は通常診療で得られた項目のみであり、本試験に伴って新たに生じる身体への危険や不利益はありません。

研究に使用されるカルテ情報

性別、年齢、喫煙歴、主な既往歴/合併症、内服薬、血液検査結果（血算、生化学、腫瘍マーカー）、Performance Status（元気さの尺度）、転移部位、病理診断、EGFR 遺伝子変異/ALK 遺伝子転座の有無、PD-L1 発現、臨床病期、治療内容、治療期間、治療効果（無増悪生存期間、全生存期間、最良総合効果）、有害反応、生存情報

プライバシーの保護について

患者さん個人が特定されるような情報は一切公表されません。

倫理手続き

この研究は、豊川市民病院病院倫理審査委員会の承認を得て行っています。

利益相反

本研究にかかわる利益相反はございません。本研究は豊川市民病院医局 呼吸器内科の研究費を用いて行っております。

問い合わせ窓口

カルテ情報の利用を希望されない方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。お申し出いただいても今後の診療等に影響はありません。ただし、すでに論文発表や学会発表にて公表されたデータとなっている場合には撤回はできません。

本研究に関しましてお聞きになりたいことがありましたらいつでも担当医もしくは下記問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

研究担当者：二宮 茂光 豊川市民病院呼吸器内科診療部長
〒442-8561 愛知県豊川市八幡町野路23番地 3階医局内
TEL：0533-86-1111（代表） / Fax：0533-84-1327